

としよつだより がつ

山崎北小学校

2月22日は「にゃん(2) にゃん(2) にゃん(2)」で「猫の白」
気まぐれでミス터리アスなイメージの猫たちは、さまざまな物語に登場
しますね。猫が好きな人も苦手な人も、猫たちの本をみてみましょう。



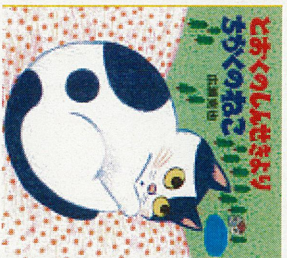
猫がでてくる本



猫の本はたくさんあるので探してみてね！



「とおくのしんせきよりちかくのねこ」



広瀬 克也 著 絵本館

棚からねこ(棚からぼたもち)、花よりねこ(花よりだんご)、
ねこと背くらべ(どんぐりの背くらべ)…。おなじみの
ことわざの一部を「ねこ」に置きかえて描いた絵本。

「ネコはとってもいそがしい」



吉野 万理子 作 森田 るり 絵 < ちんの児童文学

昼間はいつも寝ている、ターくんちのネコ、チャオ。人間は
「ネコは寝るのが仕事だ」と言うけれど、チャオは本当は
とっても忙しいのです。チャオの仕事は、人間が眠った頃に
始まり…。チャオの真夜中の大冒険を描きます。

「ねこの5ふんこ」



ハラ ミチヨ 著 白泉社

仲良くなめ合っていたと思ったら、取っ組み合っていたり、
クローゼットのドアノブを触っていたと思ったら、扉を開けて
中のものを出して寝ていたり…。2分後、5分後、1年後で
変わる気まぐれな猫たちを愛らしく描いた絵本。



学校の図書室になかったら 岩出図書館に借りに来てね

